

令和6（2024）年度 「指定保育士養成施設実態調査」調査ご協力のお願い

一般社団法人 全国保育士養成協議会 保育士養成研究所

※調査のご回答は、データをダウンロードしてご回答記入後、メール添付でお送りいただきたくお願い申し上げます。

1 調査の目的

平成29年度から毎年度一回実施をしている本調査は、保育士養成施設の役割・使命として重視される教育内容の充実と質の維持・向上に努めるために、保育士養成施設における教育の実態を継続的に把握し、そこで得られた情報を公表し、養成方法、養成内容、養成における工夫等を相互に確認することを通じて、わが国の保育士養成教育の質の維持向上を図るための資料として活用することを目的としています。

2 調査内容

①保育士養成施設プロフィール、②保育士養成課程に所属している教員の状況、③教育・支援に関わる事項、④実習に関する具体的な事項、⑤保育士養成教育の充実・改善及び特色ある教育、⑥学生の就学・進路の状況の6項目です。

3 調査へのご協力について

毎年度一回実施をしているルーティン調査ですので、必ずご回答くださいますようお願いいたします。今回の調査の目的に沿って、各会員校の状況に関するデータを公表することが重要となります。つきましては、全体的調査結果並びに養成施設ごとの調査結果を『保育士養成研究所報告書』及び本会ホームページにおいて公表させていただくことをご了承ください。

4 データの管理等について

本調査において得られたデータは本調査の目的以外に使用することはありません。回答データは特定のUSBメモリーに保存したうえ、回答された調査票とともに施錠できるロッカー等に保管し、業務終了後一定期間経過後に溶解処理にて破棄いたします。

※ 本会会員名簿に複数の保育士養成課程を掲載している会員校は、養成課程ごとにご回答をお願いいたします。

- 学科長等養成課程の責任ある教員の方が回答してください。
- 問1から問5については2024年4月1日時点での状況を、問6については2024年3月末時点での状況を入力してください。
- には内容を入力してください。※人数を回答いただく設問で該当者がいない場合には「0」と入力してください。
番号で回答をする設問には該当する番号の右のチェック欄に☑をしてください（「複数回答可」の表示がない場合には1つ）。
- 調査結果は本会ホームページにおいても公表いたします。
- 2025年1月31日(金)までに下記メールアドレス宛に添付ファイル（Excelデータのまま）でお送りください。

一般社団法人 全国保育士養成協議会 保育士養成研究所

東京都豊島区高田3-19-10 TEL 03-3590-5571

事業調査課 kenkyusho@hoyokyo.or.jp

プロフィール

1-1) 養成校名および保育士養成課程名
 養成校名 [] 保育士養成課程名 []

1-2) 指定を受けた年月
 西暦 [] 年 [] 月

1-3) 種別
 ① ☐ 大学 ② ☐ 短期大学 ③ ☐ 専修学校 ④ ☐ 高等学校専攻科 ⑤ ☐ その他

1-4) 修業年限
 ① ☐ 4年 ② ☐ 3年 ③ ☐ 2年

1-5) 保育士以外の取得可能資格・免許 「複数回答可」

- ① ☐ 幼稚園教諭免許一種 ② ☐ 幼稚園教諭免許二種 ③ ☐ 社会福祉士 ④ ☐ 介護福祉士
 ⑤ ☐ 小学校教諭免許 ⑥ ☐ その他 []

教員の状況

2-1) 現在保育士養成施設に指定されている学部、学科、専攻等に所属している教員数
 専任教員 [] 名 非常勤教員 [] 名

2-2) 現在保育士養成施設に指定されている学部、学科、専攻等に所属している専任教員の状況

※該当者がいない場合には、「0」名とご記入ください。

年 齢			性 別	他校を含む保育士養成施設 在職年数合計			保育士資格保有者	幼稚園免許保有者
20代		名	男性	0～5年		名		
30代		名		6～10年		名		
40代		名		11～15年		名		
50代		名	女性	16年～		名		
60代以上		名						

2－3) 現在保育士養成施設に指定されている学部、学科、専攻等に所属している専任教員の所属学会

所属学会 ※該当する学会に所属している人数をご記入ください。該当者がいない場合には、「0」名とご記入ください。 また、選択肢以外の学会に所属している場合は、その他にご記入ください。（行は増やさず、主だったものをご記入ください）									
・ 日本保育者養成教育学会		名	・ その他		名	・ その他		名	
・ 日本保育学会		名	()	()	
・ 日本発達心理学会		名	()	()	
・ 日本乳幼児教育学会		名	()	()	
・ 日本子ども家庭福祉学会		名	()	()	
・ 日本社会福祉学会		名	()	()	
・ 日本教育心理学会		名	()	()	
・ 日本教育学会		名	()	()	
・ 日本小児保健協会		名	()	()	

2－4) 令和6年度全国保育士養成協議会全国セミナー 参加者数

 人

2－5) 令和5年度保育士養成研究所研修会 参加者数

(合計) 人

教育・支援に関わる事項

3-1) 学修を支援する部署・機関

① ☐ ある

② ☐ ない

↓

ある場合、部署・機関名

[

]

3-2) 学生生活を支援する部署・機関

① ☐ ある

② ☐ ない

↓

ある場合、部署・機関名

[

]

3-3) 実習を支援する部署・機関

① ☐ ある

② ☐ ない

↓

ある場合、部署・機関名

[

]

3-4) 就職を支援する部署・機関

① ☐ ある

② ☐ ない

↓

ある場合、部署・機関名

[

]

実習に関する具体的な事項

4-1) 「保育実習」に関わる教科目を担当する教員数

※該当者がいない場合には、「0」名とご記入ください。

	教科目名													
専任・非常勤	保育実習Ⅰ (保育所等)		保育実習指導Ⅰ (保育所等)		保育実習Ⅰ (施設等)		保育実習指導Ⅰ (施設等)		保育実習Ⅱ		保育実習指導Ⅱ		保育実習Ⅲ	
専任教員数		名		名		名		名		名		名		名
非常勤教員数		名		名		名		名		名		名		名

4-2) 実習指導に専ら従事する教職員

① ☐ いる

② ☐ いない



いる場合、

専任・非常勤	教員（特任教員・助教等含む）		職員（助手等含む）		その他	
専任教員数		名		名		名
非常勤教員数		名		名		名

4-3) 実習指導者認定講習修了教員

① ☐ いる （ 人 ）

② ☐ いない

4-4) 実習訪問指導の担当者

① ☐ 実習担当教員のみ

② ☐ 実習担当教員に加えて一部の教員

③ ☐ 養成課程に所属する全教員

④ ☐ 養成課程の全教員に加えて養成課程外の教員も担当

⑤ ☐ その他 []

4-5) 一実習期間（概ね10日間）内の訪問指導状況

① ☐ すべての実習施設を訪問している

② ☐ 一部の実習施設は訪問せず、電話等で指導を行う

訪問しない理由 []

③ ☐ 一部の実習施設は訪問せず、特に連絡等もしない

訪問しない理由 []

④ ☐ 訪問指導は必要な場合のみ行っている

⑤ ☐ 訪問指導を行っていない

行わない理由 []

4-6) 実習指導マニュアル等、実習指導の標準を示すもの

① ☐ ある

② ☐ ない



ある場合、見直しは

① ☐ 定期的 [] 年に1回

② ☐ 随時

4-7) 実習を履修するための規定の有無

① ☐ ある

② ☐ ない



ある場合、 (1) 修得単位数の規定

① ☐ 設けている

② ☐ 設けていない

(2) 履修済み科目の規定

① ☐ 設けている

② ☐ 設けていない

(3) その他

[

]

4-8) 実習の成績評価の基準

① ☐ シラバスや実習要項等に明記されている

② ☐ 明記されていない

貴学の保育士養成教育の充実・改善及び特色ある教育

5-1) 保育士養成教育の充実・改善のための会議

① ☐ ある

② ☐ ない



ある場合、「複数回答可」

① ☐ 学部、学科、専攻等の会議

② ☐ 「保育実習」に関わる教科目を担当する教員による会議

③ ☐ その他

[

]

5-2) 保育士の養成に関するFD（学内での研修等）

① ☐ 行っている

② ☐ 行っていない

5-3) 保育士養成倫理綱領の活用

① ☐ 活用している

② ☐ 活用していない



活用している場合、 FD（学内研修）と関連

① ☐ 関連させている

② ☐ 関連させていない

5-4) 学部、学科、専攻等として実施している保育士養成に関する共同研究

① ☐ 行っている

② ☐ 行っていない

5-5) 保育士として就職した卒業生の学部、学科、専攻等としてのフォロー

① ☐ 行っている

② ☐ 行っていない



行っている場合、

内容

[

]

5-6) 保育現場との関係の中で、保育士養成に貢献すると考えられる工夫

① ☐ 行っている

② ☐ 行っていない

行っている場合、

① ☐ インターンシップ

[]

② ☐ 実習施設と連携した演習

[]

③ ☐ 保育現場や乳幼児に触れる機会の工夫

[]

④ ☐ その他

[]

5-7) 保育士養成に関して連携・協働を行っている保育現場の有無

① ☐ ある

② ☐ ない

ある場合、「複数回答可」

① ☐ 大学附属（併設）の保育・教育関連施設

② ☐ 近隣の保育・教育関連施設

③ ☐ 実習先である保育・教育関連施設

④ ☐ その他

[]

5-8) 保育士養成に関して連携・協働を行っている高等学校（中高一貫校も含む）の有無

① ☐ ある

② ☐ ない

ある場合、「複数回答可」

① ☐ 大学附属（併設）の高等学校

② ☐ 近隣の高等学校

③ ☐ 在学生の出身高等学校

④ ☐ 出張講義等を行った（行っている）高等学校

⑤ ☐ その他

[]

5-9) 高等学校（中高一貫校も含む）に対する保育士の魅力発信する取組みの有無

① ☐ ある

② ☐ ない

ある場合、

内容

[]

5-10) 保育士養成に関わる特色ある独自の取組みの有無

① ☐ ある

② ☐ ない

ある場合、

内容

[]

学生の就学・進路の状況

※2024（令和6年）年3月の卒業生についてお答え下さい。
 ※該当者がいない場合には、「0」名とご記入ください。

6－1）保育士資格取得者の状況

卒業者数		当該学年の 途中退学者数		保育士養成課程修了によ る 保育士資格取得者数		保育士試験による 保育士資格取得者数		保育士資格取得者 のうちの就職者数		保育士資格取得者 のうちの進学者数	
	名		名		名		名		名		名

↓ ↓ 保育士資格取得者の就職先・進学先について

①就職先

保育所		幼稚園		認定こども園 計（ 0 ） 名 ※内訳を把握している場合は下記に				小規模保育等 地域型保育事業		児童養護施設		乳児院		障害児・者 福祉施設	
				幼保連携型		保育所型									
	名		名		名		名		名		名		名		名
その他の教育・福祉施設（認可外保育施設・企業主導型保育事業等含）		その他 （一般企業、保育職 以外の公務員等）		就職希望せず		②進学先									
	名		名		名	大学編入		大学院進学		専攻科		その他（他の大学・短期大学・専修学校等）			
	名		名		名		名		名		名		名		

6－2）卒業生の進路状況の経年変化を把握している場合、下表にご記入ください。

	令和2年3月		令和3年3月		令和4年3月		令和5年3月		令和6年3月	
卒業時の就職者数		名		名		名		名		名
最初の就職先から の離職者数		名		名		名		名		名

設問は以上です。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。